

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2020年
Vol.38

ほっとタイムズ



教えてドクターQ&A 尿路結石に ついて



島居 徹(新病院長)

病院長メッセージ

「新型コロナウイルス感染症対策と 病院機能」

特集『乳がんについて』 2~5

乳腺外科 部長 北原 美由紀
放射線技術科 診療放射線技師 主任 高坂 倫江

はじめまして！新入職員のご紹介 7

消化器外科 部長 京田 有介
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長 西村 文吾

ドクター紹介 7

循環器内科 部長 吉田健太郎
循環器内科 医員 津曲 保彰

トピックス 8

優良職員表彰について

当院で活躍する認定看護師 8

透析看護認定看護師 森島早智子

連携医療機関のご紹介 9

会沢内科クリニック／杉並クリニック

地域連携だより 各診療科のご紹介 10

循環器外科

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのご願い・

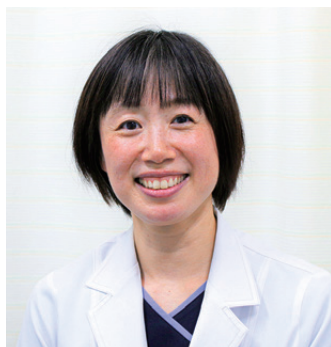
職員募集 12

女性にいちばん多いがん

～乳がんについて知っておいてほしいこと～



女性に一番多いがんである乳がん。ライフスタイルの変化などから、近年では日本の女性にも急増しています。そこで今回は乳がんについて乳腺外科 部長 北原医師にくわしく話を聞くとともに、茨城県内で初稼働となった最新機器「3D乳房撮影装置」について放射線技術科の高坂診療放射線技師に話を伺いました。



乳腺外科 部長
きたはら みゆき
北原 美由紀

編集者 唐木（以下唐木）：女性にとって、乳がんは今や誰もがかかる可能性のある、とても身近な病気ですね。まずは、乳がんについて教えていただけますか。

北原美由紀医師（以下、北原）：乳がんは、乳房にある乳腺にできる悪性腫瘍です。乳腺は、乳頭を中心に15～20の乳腺葉で構成されており、母乳をつくる「小葉」と、小葉でつくられた母乳を乳頭まで運ぶ細い枝状の「乳管」とに分けられます。乳がんの多くは乳管から発生し、「乳管がん」と呼ばれ、小葉から発生する乳がんは「小葉がん」と呼ばれます。がん細胞は、はじめのうちは小葉や乳管内にとどまっていますが、やがて外を包んでいる膜（基底膜）を破り、乳腺内の周囲の組織に広がります。がん細胞が乳管や小葉内にとどまっている状態を「非浸潤がん」と呼び、がん細胞が増殖し

乳管や小葉の外に広がった状態を「浸潤がん」と呼びます。乳がんは、しこりとして見つかる前に、乳房の周りのリンパ節や遠くの臓器に転移して見つかることがあります。乳がんの種類や性質によって、広がりやすさ、転移しやすさは、大きく異なります。

唐木：では、どのような症状に気をつければよいでしょうか。

北原：よく知られる症状のひとつが乳房のしこりです。また、乳房にえくぼのようなへこみ、乳頭や乳輪に湿疹やただれを生じたり、オレンジの皮のように皮膚がむくんだように赤くなったりします。乳頭から血の混じったような分泌物が出ることもあります。乳がんがわきの下のリンパ節に転移すると、わきの下にしこりができたり、腕がむくんだりしびれたりすることがあります。

唐木：乳がんの治療法にはどのようなものがあるのか教えていただけますか。

北原：手術、放射線治療、薬物療法（内分泌療法（ホルモン療法）、化学療法、分子標的治療など）があります。それぞれの治療を単独で行う場合と、複数の治療を組み合わせる場合があります。がんの性質や病期（ステージ）、全身の状態、年齢、合併する他の病気の有無などに加え、患者さんの希望を考慮しながら、治療法を決めていきます。

唐木：それから、乳がんになりやすい要因というものはあるのでしょうか。

北原：一般的に次のような人がかかりやすいといわれています。

初潮年齢が早かった方、出産経験のない、授乳経験のない、または初産年齢が遅い方、閉経年齢が遅かった方。肥満や飲酒、喫煙、糖尿病の方もリスクの一つです。また、親から受け継いだ、生まれもったものとして、「遺伝要因」も乳がんの発症に強く関わっています。

唐木：遺伝については、気になる方もたくさん居ると思います。乳がんの遺伝についてもう少し詳しく教えていただけますか。

北原：乳がんを発症した人の5-10%は、遺伝的に乳がんを発症しやすい体質を持っていると考えられています。また、ご家族に乳がんや卵巣がんを発症した方がいなくても、患者さんご自身が若年性乳がんや、両側性や多発性の乳がん、男性乳がん、卵巣がんと乳がんの両方にかかったことがある場合には、遺伝性乳がんの可能性がありま。それを判断するには専門的な詳しい評価が必要です。遺伝の可能性がある程度高い場合には、乳がんの遺伝に関係する遺伝子の検査を受けることを一つの選択肢として提示して、希望される患者さんには遺伝学的検査を受けていただくことがあります。

唐木：普段から気をつけることや予防法などありますか。

北原：がん予防には禁煙、節度のある飲酒、バランスの良い食事、身体活動、適正な体形、感染予防が効果的といわれています。その中でも乳がんを予防するためには、飲酒を控え、閉経後の肥満を避けるために体重を管理し、身体活動度を高めること（適度な運動）がよいと考えられています。

唐木：生活習慣が大きく関わっているんですね。それでは、最後に読者の方へメッセージをお願いします。

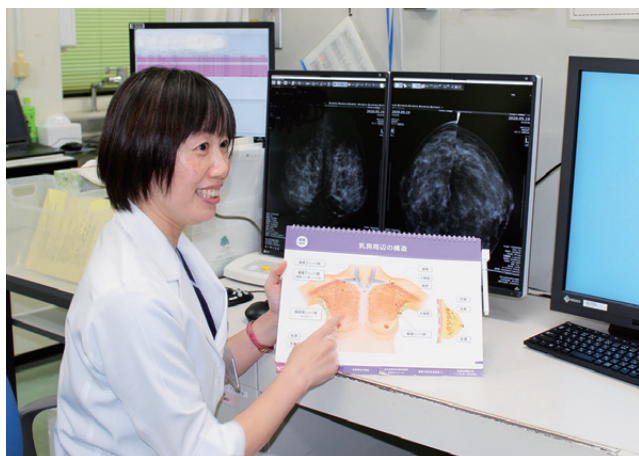
北原：自分の乳房に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することを「ブレスト・アウェアネス」といい、これは乳がんの早期発見・診断・治療につながる、女性にとって非常に重要な生活習慣です。「ブレスト・アウェアネス」を身につけるために、以下の4つの項目を実践しましょう。

- ①自分の乳房の状態を知るために、日頃から自分の乳房を、見て、触って、感じる
（入浴やシャワー、着替えのときに乳房のセルフチェック）
- ②気をつけなければならない乳房の変化を知る（しこりや血性の乳頭分泌など）
- ③乳房の変化を自覚したら、すぐに医療機関を受診する
- ④40歳になったら定期的に乳がん検診を受診する

胸がチクチクする、胸がつる、違和感といった症状で、あわてて乳腺外来を受診する方がいらっしゃいますが、それだけでは乳がんの心配はほぼありません。定期的に乳がん検診を受診するよう心がけてください。

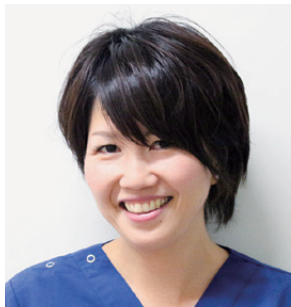
唐木：乳がんについて、また、自分の乳房について日頃から関心を持つことや定期的に乳がんの検診を受診することは女性にとって、とても大切なことがわかりました。ひとりでも多くの方が、この生活習慣を取り入れ、自分の身体を大事にいただけたら、うれしいですね。

北原先生、今日はありがとうございました。



乳がん検診の話題がでたところで、ここからは乳がんの診断と当院で導入された最新の乳房撮影装置について放射線技術科の高坂診療放射線技師にお話を伺います。

（次ページへ続く）



放射線技術科
診療放射線技師 主任
たかさかのりえ
高坂 倫江

編集者 唐木（以下唐木）：当院に新しい乳房撮影装置が導入されたとお聞きしました！

高坂診療放射線技師（以下、高坂）：当院では令和2年3月に乳房撮影装置が更新され、HOLOGIC社製3Dimensionsが導入されました。この機器は茨城県内で初稼働になります。

唐木：どのような乳房撮影装置なのでしょう。特徴を教えてください。

高坂：その名の通り、3D撮像が可能になりました。従来の乳房撮影装置の2D画像では、乳房のすべての情報を1枚の写真に写し出すため、病変が正常乳腺と重なり発見しにくい場合があります。特に日本人女性に多い高濃度乳房では、背景乳腺がマンモグラフィ上高濃度、つまり白く描出されるため、同じく白く描出される乳がんが隠れてしまいやすい傾向にあります。その問題点を解決したのが3D撮影です。乳房を角度を変えて複数の方向から撮影し、収集した画像データを1mm毎のスライスでより詳しく診断することができる最新技術です。

唐木：日本人女性に多い高濃度乳房も詳しく診断できるというのは朗報ですね。

高坂：はい。これにより、従来、乳腺内に隠れて見えなかった病変がわかりやすく確認できるようになりました。また、腫瘤のようにみえていたものが、実際は乳腺の重なりだったという病変の否定にも貢献する機能です。

唐木：乳がんの発見・診断に大いなる貢献をしてくれる高機能の乳房撮影装置ですが、乳房撮影には「痛い」というイメージがあります。また、乳がんの早期発見・診断には大切だとわかっていながら、乳がん検診においても、二の足を踏んでしまうという方はとても多いですね。

高坂：そうですね。私も日常の業務の中で、患者さんから「乳房撮影は、痛いから受けるのに抵抗がある。」という声をよく耳にします。当院の乳房撮影装置は、検査時に圧迫の痛みや不快感を軽減した構造で、かつ高速撮影が可能なので、3D撮影にかかる時間は約4秒程度です。短い撮像時間は、患者さんの体動リスクの減少や、痛み軽減につながります。

唐木：より詳しく病変を発見出来るだけでなく、撮影時間の短縮や痛みの軽減など新しい乳房撮影装置には患者さんへのメリットがたくさんありますね。その他、特筆すべき点はありますか。

高坂：はい。70 μ mという高解像度3Dイメージング技術は、微細な石灰化や小さな病変を早期に発見するために開発されたもので、乳腺構造や乳房の大きさに関係なく優れた3D画像を生成することができます。今回導入された乳房撮影装置で3D撮像を行った結果、2D撮像と比較し、浸潤癌を41%多く発見したことが臨床研究により報告されています。

唐木：浸潤癌の発見率のアップに大きく貢献していますね。早期に発見すれば、それだけ早く治療を行うことができますし、そうすることで、乳がんから命を守ることにもつながります。

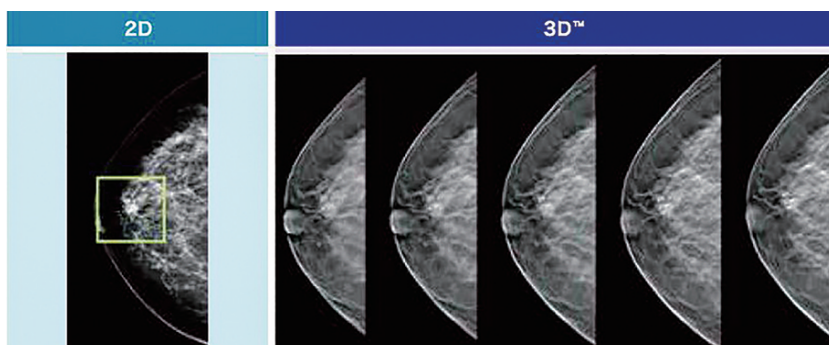
高坂：また、マンモグラフィだけでなく、ステレオガイド下吸引式組織生検（マンモトーム生検）においても3D撮像が可能になったことで、3D画像でしか確認できない病変なども容易



当院に導入されたHOLOGIC社製
3 Dimensions。
撮影は女性技師が行っております。



アームが回転し、乳房に対してたくさんの断面画像が作成可能
(画像提供: ホロジックジャパン株式会社)



マンモグラフィ2D及び3Dの比較画像 (画像提供: ホロジックジャパン株式会社)

にターゲティングできるようになりました。迅速な検査が行えるようになり、マンモトーム生検時間は従来と比較し、約半分に短縮されました。被ばく線量も低減され、患者さんの負担がより少ない検査になると思われます。

唐木: それは、患者さんにはとてもうれしいですね。当院に導入された新しい乳房撮影装置が多くの女性を救ってくれることを願っています。もちろん！放射線技術科の皆さんのご活躍も期待しています。では、最後に読者の皆様へメッセージをお願いします。

高坂: 当院では女性の診療放射線技師が乳房撮影および生検検査に従事しています。乳がんは女性のがん罹患率第一位である一方、他の先進国と比較して検診の受診率が低調であることが課題です。当院に導入された乳房撮影装置は、最新技術を搭載した機器で、検診の際にも使用しています。ご不明な点がございましたら遠慮なくスタッフにお声掛けください。

唐木: 高坂さん、今日はありがとうございました。



当院で活躍する診療放射線技師スタッフ

夏に多くなる尿路結石。
予防と再発防止が大切です！

尿路結石について

教えてドクター

Q&A



Q：尿路結石とはどのような病気ですか？

A：腎臓で作られた尿は尿路である腎杯、腎盂、尿管を通して膀胱へ流れ込み、尿道を通して排尿されます。大多数の尿路結石は腎臓（腎杯）でできます。自然に出てくる途中で尿管にとどまってしまうこともあります。排尿障害などで膀胱内に残尿があると、膀胱内で結石ができることもあります。

Q：どのような症状が出ますか。

A：痛みや血尿が主な症状ですが、普段は無症状です。尿管結石により、尿管が、れん縮すると疝痛とよばれる脇腹や下腹に強い痛みを感じます。膀胱近くの尿管結石や膀胱結石では、頻尿や残尿感などの膀胱刺激症状を伴うことがあります。尿管結石により尿の流れがせき止められると上流に尿が貯留し、急に腎盂内圧が上昇すると背中への痛みを感じます。このうっ滞した尿中で細菌が増殖してしまうと、高熱や背部痛を伴う腎盂腎炎を引き起こします。

Q：原因について教えてください。

A：過剰な尿中成分が結晶化し、成長して結石になります。多くの場合は、シュウ酸カルシウム、リン酸カルシウム、そして尿酸です。結石形成を抑制する尿中のクエン酸やマグネシウムの減少、動物性タンパク質の過剰摂取、水分不足による尿の濃縮など複数の要因が考えられます。また副甲状腺機能亢進症、ステロイドの長期服用や長期臥床では、骨から溶出したカルシウムが原因になります。痛風では血液中に増えた尿酸が、尿中にたくさん排泄されることが原因になります。尿路感染症が原因で発生する結石もあります。

Q：治療法にはどのようなものがありますか？

A：小さい腎結石、尿管結石であれば、自然に出てくる場合があります。痛みは短時間で収まることが多いため、鎮痛剤の頓用でやり過ごします。尿管結石により尿がせき止められた状態を長時間放置すると腎臓機能が悪化します。腎機能悪化を防止する目的や、結石関連の腎盂腎炎治療の一環として尿管結石の脇を通して尿管ステントを留置し、尿の流れを確保します。破碎治療には、体の外から衝撃波を結石に当てる体外衝撃波結石破碎術、尿路をさかのぼって挿入した尿管鏡や、背中から腎臓へ直接細い通路を作って挿入した腎盂鏡からレーザーなどを当てて破碎する内視鏡手術があります。結石の大きさや部位に応じてこれらの治療方法を選択します。

Q：尿路結石にならないための予防法はありますか。

A：生活習慣病の予防と共通点が多いです。すなわち減塩食、低動物性蛋白食、食べ過ぎない、適度な運動などです。尿が濃くならないように水分を摂取します。原因となるシュウ酸（苦み）は過剰摂取を避けましょう。カルシウムは普段、摂取不足気味ですので、むしろ適量を摂取することが予防になります。腸内でシュウ酸とカルシウムが結合して、吸収されずに排泄されますので、シュウ酸の吸収も防いでくれます。



常楽先生から
ひとこと

泌尿器科 部長

じょうらく

常楽

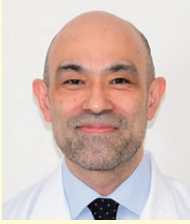
あきら

晃先生

尿路結石は再発の予防が重要です。しかし、無理のある食事制限は長続きしません。例えば苦みのある野菜は湯がいて調理したり、乳製品や鰹節、小魚の骨などカルシウムを含む食品を組み合わせるなどの工夫をして、食を楽しみながら予防することが秘訣だと思います。

はじめて!

新入職員のご紹介



消化器外科 部長(肝胆膵担当)

きょうでん ゆうすけ
京田 有介

3月より赴任いたしました。肝胆膵外科が専門で、東大附属病院、都立墨東病院、静岡県立総合病院などで勤務してきました。茨城県には初期研修で、古河にある友愛記念病院でお世話になって以来の復帰になります。前任地より気候は寒いですが、接する人たちは温かいと感じています。肝胆膵外科領域の癌は難治性ですが、私自身も5年無再発患者を経験するようになって、不治の病ではなくなっている印象です。術前抗癌剤治療、ドレナージなど多くの先生方に助けて頂いております。今後とも何卒宜しくお願いいたします。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長

にしむら ぶんご
西村 文吾

令和2年4月に赴任いたしました。筑波大学に2011年から9年間在籍し、主に頭頸部がんの診療に携わってきました。9年前、ここ県立中央病院で東日本大震災を経験し、その混乱のさなかに筑波大学へ異動したのですが、今回は新型コロナウイルスの流行というまたもや未曾有の災害、混乱のさなかの異動ということになりました。どんな状況でも自分に課せられた使命を自分のいる場所で懸命にこなしていくことに変わりはないと思っています。これまで取り組んできた頭頸部がん診療に加え茨城県の地域医療や嚥下診療にもさらに力を入れていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

ドクター紹介



循環器内科
部長(不整脈担当)

よしだ けんたろう
吉田 健太郎

不整脈が専門です。2012年から茨城県職員として、2016年からは筑波大学の教員として茨城県地域臨床教育センターに籍を置きながら当院のペースメーカーおよびカテーテルアブレーション治療を担当しています。地域に根差した診療の中で、大病院に劣らない世界レベルの治療技術を提供することを常に目指しています。診療と共に臨床研究に携わることで、微力ながらも不整脈治療の発展に貢献することも大切な仕事と考えています。卒後20年を迎え、医者人生の折り返し地点に差し掛かっています。5人の子供たちの育児と不整脈のことで頭の中はいつも一杯で、残りの20年はあっという間に過ぎ去りそうです。一日一日を大切に、一人でも多くの患者さんのお役に立つことができるように、自分の持てる力を出し切りたいです。



循環器内科
医員

つまがり やすあき
津曲 保彰

本年4月から3年ぶりに当院勤務となりました。南九州で育ち、大学入学から茨城に来て、沖縄での初期研修2年間以外は県内の病院で主に循環器診療に携わってきました。当院では循環器一般診療に加えて不整脈治療(カテーテルアブレーション、ペースメーカー植え込み等)を担当しております。

循環器疾患は治療を受ければ根治というわけではなく、その後も付き合っていく病気が多いです。患者さんと共に病気としっかり向き合うことによってその後の生活がより良いものになるよう、丁寧な診療を心掛けたいと思っています。

令和元年度一般社団法人 茨城県病院協会病院職員表彰（優良職員）を 当院職員 8 名が受賞しました。

3月30日当院にて、一般社団法人茨城県病院協会病院職員表彰（優良職員）の表彰式が行われ、8名の職員が表彰を受けました。この表彰は、長年、病院業務に従事し、病院の維持発展に多大なる貢献をした職員に贈られるものです。今回、表彰されました8名の方の長年のご功労に敬意を表し、今後のさらなるご活躍をお祈りします。



【受賞者】（写真前列左より）

診療放射線技師 金澤 真弓、副看護師長 青木美代子、副総看護師長 木村 和美、吉川前病院長、
副放射線技術科長 松本 広、副放射線技術科長 西部 雅和、副臨床検査技術科長 矢萩かをる
（写真右上）前副総看護師長 坪井 喜代 （写真右下）看護師（助産師）佐藤 和子

当院で活躍する認定看護師

透析看護
認定看護師

もりしま さちこ
森島 早智子



血液透析はチーム医療を必要とする専門的治療です。チームの一員として、多くの合併症を抱えた透析療法を受ける患者さんに、安全で安楽な透析治療の提供を目指しています。その為に、1人ひとりの患者さんを理解し、食事や体重管理、バス

キュラーアクセス管理を含む日常生活の指導や支援を行っています。また、腎臓病外来に来院された慢性腎不全の患者さんやご家族へ、腎代替療法選択のための情報提供を行い、それぞれの生活背景から適切な選択ができるように支援しています。

かかりつけ医を
持ちましょう

連携医療機関のご紹介

会沢内科クリニック

院長 白石 祐司

開院は1994年ですが2018年5月から承継し現在の体制で診療しております。

専門は糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病ですが、それに限らず消化器や呼吸器、循環器疾患など、内科一般に広く診療をしております。その他、頸動脈や腹部超音波検査、上部消化管内視鏡なども行っております。

十分なコミュニケーションの上で良好な治療が進められると考えています。病気のことに限らず、まずは気兼ねなくお話ししていただくと幸いです。

当院を受診された患者さんが前向きに治療にのぞめる、体の不調を感じたら気軽に受診でき、「このクリニックに来てよかった」と思っただけのような心温まるクリニックをめざしています。



■所在地：水戸市住吉町44-37

■電話：029-247-2331

■診療受付時間：午前9:00～12:00、午後15:00～18:00

■休診日：木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

杉並クリニック

院長 小貫 啓二

当院は、平成14年に石岡市杉並に開業しました。

院長（小貫啓二）副院長（道子）の2人体制です。

当初は、脳神経疾患や循環器科疾患を主に始めましたが、現在は、ほとんど、何でも診る田舎の総合診療医院になっております。

CT、MRI(1.5T)がありますので、脳神経疾患、呼吸器疾患、脊椎疾患はじめ、幅広く各種の診断治療を行っています。但し、脳卒中や心筋梗塞、呼吸器疾患等の急性期の治療が必要な場合や精密検査・治療が必要な場合には、県立中央病院の各科の先生方に、大変お世話になっております。

今後も、地域の方々の予防医学の一助となるべく、また、あらゆる相談事に乗る様に心がけています。高齢化社会に伴い、訪問診療も少ないながら、多くの皆様のご協力の下にささやかに担っております。在宅看取りも行っています。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



■所在地：石岡市杉並2-2-19

■電話：0299-27-6700

■Fax：0299-27-6701

■診療受付時間：午前8:30～11:30、午後14:30～17:30

■休診日：水曜・土曜午後、日曜日

■ホームページ：www.suginami-clinic.com

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



循環器外科

えの もと よし はる
部長 榎本 佳治

循環器外科は病院によっては心臓血管外科とも呼ばれる科で、虚血性心疾患、心臓弁膜症、血管疾患、先

天性心疾患（成人）といった循環器疾患に対する手術治療を行っております。当院では腹部大動脈以下の動脈疾患、静脈疾患は血管外科が担当しておりますが、胸部大動脈瘤に対するステントグラフトなど、合同で治療にあたることも少なくありません。

当院の循環器診療は内科・外科のみならず、あらゆる職種のメンバーと密に連携をとって診療を行っているのが特徴です。毎週行われる合同カンファランスでは、内科・外科全ての患者さんについて一緒に治療方針について検討し、また毎朝のCCU（循環器集中治療室）病棟の回診も、全ての循環器内科・外科医、その他関係するスタッフ合同で行っております。

最近では、循環器疾患に対する治療戦略も多種多様となってきており、内科・外科治療の境界も複雑になってきていると言えます。巷にはTVやインターネットなどに様々な情報が溢れ、一般の方々だけでなく、医師であっても循環器疾患を専門としない先生方にとっては、なかなかわかり難いものとなってきております。当院では紹介された科が内科だから内科的治療、外科だから手術治療ということではなく、その患者さんにとって最良の治療は何かということを常にみんなで考えて提供することを第一としており、それが当院の誇れるところではないかと考えております。

手術後は当院循環器内科、あるいは外来で落ち着いたあと、かかりつけ医である地域の開業医の先生にご加療をお願いすることになりますが、たとえ順調な経過を辿っている場合でも、原則年1回は当院で心臓超音波検査を行い、術後の状態をフォローしていきます。

水戸・笠間地域、さらには茨城県下の全ての患者さんに、術前・手術・術後の最善な医療を提供できるよう、引き続き地域の先生方とも連携して日々の診療にあたっております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

—第1回—

「新型コロナウイルス感染症対策と 病院機能」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

しま ずい とおる
病院長 島 居 徹



4月1日に新病院長として着任しましたが、同日に茨城県内で新型コロナウイルス感染症の拡大がみられました。

当院は本感染症への対応として、それまでも接触者外来、PCR検査への協力、面会禁止、来院者の検温のお願いや電話診療のご案内など、スクリーニングと感染防止に務めてまいりましたが、県内の入院病床が逼迫した状況を受けて、4月2日から本感染症患者の入院治療を開始しました。その後、入院患者数の急な増加がみられたため、感染症患者の入院治療受け入れ中であることと通常診療の制限をお知らせし、病院機能を本感染症の治療やPCR検査にシフトし、その他の対応もスピード感とバランス感に留意しながら行ってまいりました。直接、本感染症患者さんに接触するリスクや県内の拡大状況に合わせ、PCR検査のドライブスルー化、全職員の検温とその管理、全来院者の検温、手術患者さんの術前PCR検査などを順次導入し、本感染症と戦ってまいりました。

この2ヶ月弱の間、国の緊急事態宣言や特定警戒都道府県の指定など県内でも多くの制限がありましたが、5月末時点、これらが解除されつつあり、日常生活をどのように取り戻すか、という新しい生活様式が議論されるようになってまいりました。

当院の本来の病院機能は、日常的な一般診療に加え、地域医療との連携を伴った高度専門的な内

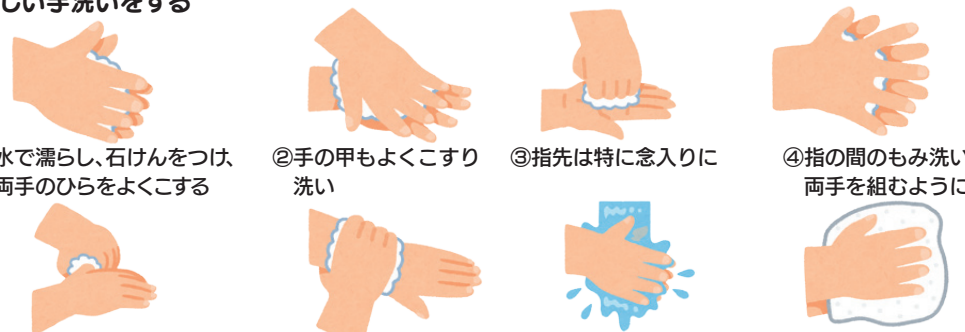
科外科がん診療、救急診療、産科診療などの専門的医療ですが、新型コロナウイルス感染症による制限のため、多くの患者さんにご不便ご迷惑をおかけしていることをお詫びするとともに、これまでのご理解に感謝いたします。本感染症は長期化あるいは第2波の発生などが予測されておりますので、今後本感染症との共存という形態が求められると思います。対策の緩和は慎重かつ段階的であること、医療現場の対策緩和は最後の段階でと考えられますので、引き続きご不便やご心配をおかけするかもしれませんが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。



当院における新型コロナウイルス感染症対策の一つ、正面玄関での体温測定実施の様子

新型コロナウイルスをはじめとする 感染症予防対策の基本を身につけ、 個人個人が感染症予防対策に努めましょう！

1. 正しい手洗いをする

- 
- ①水で濡らし、石けんをつけ、両手のひらをよくこする
 - ②手の甲もよくこすり洗い
 - ③指先は特に念入りに洗い
 - ④指の間のもみ洗いは両手を組むように
 - ⑤親指は反対の手でねじり洗い
 - ⑥手首も忘れずに！
 - ⑦流水で十分に洗い流す
 - ⑧ペーパータオルなどで水分をしっかりとふきとる

2. こまめな手指消毒やうがいをこころがける



4. 咳エチケットを身につける



3. 正しくマスクをつける

- 鼻・口あごを完全に覆う
- マスクと顔面に隙間ができないようフィットさせる



5. 換気をする



会計年度任用職員

ドクターズ・クラーク(医師事務作業補助者)の募集

募集人員：5名程度

雇用期間：採用から2021年3月31日まで
契約更新有り（条件有り）

業務内容：医師が行う事務作業の補助をする業務です。
電子カルテへの診察記録の代行入力
診察に関するデータの抽出、作成
各種保険の診断書や証明書などの作成代行
カンファレンスの準備及び資料・議事録の作成など

必要経験：医事業務の経験等があることが望ましいが、未経験者でも可。パソコンスキル（エクセル・ワード）

賃 金：日給5,350～6,580円、他に賞与あり（院内保育所：空きがある場合は利用可）

勤務時間：原則9:00～16:00（週29時間勤務）

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 黒澤
☎0296-77-1121（内線2024）

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>